

第四章 事業の進め方

この構想は、民間事業者の活力を生かしつつ、官民の適切な役割分担のもと、スピード感を持って事業を進めていきます。

1) 官民の適切な役割分担

■民間を事業主体にした展開

①経験や知見、発想、活力などを積極的に活用

来訪者のニーズに迅速に対応し、世界の金シャチ横丁（仮称）の魅力や経営を安定的に維持していくため、構想の考え方や空間づくりのイメージを明示しながら民間事業者等と協働し、企画・設計・建設、資金調達、運営・管理を行うなど、民間が持つ経験や知識、発想力、資金力などを積極的に活用していきます。

②整備・管理運営の効率化によるコスト縮減

民間事業者による整備から管理運営までの一貫した提案をもとに、公益性の高い施設も含めた施設全体の一体的運営を目指すことでコストの縮減を図り、持続性や良好な経営を確保します。

■行政による徹底したサポート

①民間活動を促進するための規制緩和やコーディネート

世界の金シャチ横丁（仮称）での活動を希望する民間事業者の創意工夫による取り組みを実現するため、名古屋城及び周辺の空間や施設利用に関する規制緩和を検討します。さらに催し物やイベントの水準を高めるため、各界の専門家等によるコーディネートを図るなど、民間事業者の取り組みを支援します。

②迅速な意思決定を可能にする権限の集約化

魅力的なイベントづくりには、名古屋城内外のそれぞれの施設を相互利用していくことが重要であり、効率的な許認可手続の実現へ向け、各機関に分散する施設利用の権限の集約化と窓口の一本化による迅速な意思決定ができるよう検討します。

2) 的確なニーズ把握とスピード感のある整備

■社会実験の実施

- データの収集と計画への反映
- 本格実施に向けた機運醸成

世界の金シャチ横丁（仮称）に対する市民や外国人も含む観光客のニーズを的確に把握し、計画へのフィードバックを図るため、社会実験を実施していきます。

こうした実験を通じ、この構想を広く市民や観光客に周知することで、本格実施に向けた機運醸成を図ります。

■スピード感のある段階的な整備

- 長期的な視点に立ちつつ実現可能なところから整備に着手
- 時代の変化に対し柔軟かつスピーディな対応

世界の金シャチ横丁（仮称）の実現には多くの費用が見込まれるほか、計画地の一部には、公的施設も立地していることから、全体の完成には多くの年月を要するものとも考えられます。

このため、長期的な視野の中で具体的な計画を立案しつつも、実現可能なところから民間事業者の資金力を活かしつつ段階的に事業を推進します。

また、時代とともに変化する市民や観光客のニーズに対しては、整備を進める中で構想や計画を定期的に見直すなど、柔軟かつスピーディに対応します。

3) 推進していく過程における留意点

■大規模イベントや博覧会との連携による効果的な情報発信

世界の金シャチ横丁（仮称）の実現に向けては、様々な大規模イベントや博覧会の誘致を進めつつ、これらの開催と連携しながら全国に向け効果的な情報発信をしていきます。

こうしたイベントの開催と連携することで、大きな相乗効果を高めていくことが期待できます。



■常に変化し続けるシステムを構築

長きに渡って話題性や賑わいを保っていくためには、常に魅力ある新鮮な来城者サービスを展開していく必要があります。

そのために、店舗や展示内容等について固定化するのではなく、柔軟に変化させるシステムの構築を検討していきます。